

市政を問う！

一般質問

9月定例会では、20・21・22日の3日間で17人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



議長 長 幸一
大石



一般質問

小林 利規 議員（新翔会）

ぷらっとわらび 運賃無料の拡充を

【議員】 コミュニティバスぷらっとわらびは、身体障害者手帳や療育手帳に要介護の表示がある方、及びその介護人は運賃が無料となっている。高齢者の移動支援という観点から、要介護認定を受けた方と、その介護人に対しても運賃の割引を求める声があるが、どのように考えているのか。

【市民生活部長】 これまでも直接担当課に要望をいただき、運行事業者とその実現性について協議を行っている。割引対象者の拡充に当たり、市には財政面における影響、運行

事業者には運転手業務の負担増のほか、一般路線との兼ね合いなどの課題があり、引き続き調査・研究していきたい。

【議員】 高齢者や障害のある方の移動や外出支援が目的の1つとして運行しているぷらっとわらびにおいて、身体障害者の方が無料であるならば、要介護認定の方が同じ対応でもいいのではないかと考える。健康密度日本一を目指すのであれば、ぜひ推進してほしい。

新型コロナウイルス 接種事業について

【議員】 新型コロナウイルス接種後の死亡や後遺症患者に対する見解はどのようか。

【健康福祉部長】 予防接種の副反応による健康被害は極めてまれな確率ではあるものの、不可避免的に生じるものと認識している。そのため、国の救済制度があり、健康被害救済制度の周知を図っている。

【議員】 本市内における新型コロナウイルスワクチン接種に関わる予



こばやし りき

防接種健康被害救済制度の申請件数はどうか。

【健康福祉部長】 令和4年度が4件、5年度は8月末現在で3件となっている。

【議員】 先日、他県の消防組合でワクチンハラスメントもとられる事案が報道された。将来再び起こり得るパンデミックに備え、検証することも必要だと考えるが、ワクチンハラスメントについてはどのようなであったか。

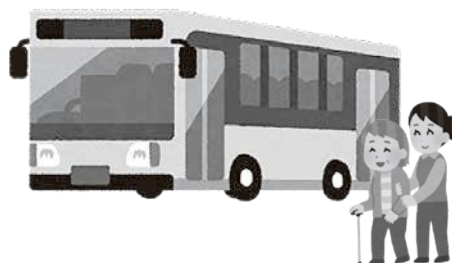
【健康福祉部長】 これまでのところ、具体的な相談事例は把握していない。

職員の衣服着用について

【議員】 今年の夏は記録的な猛暑となった。令和2年9月定例会で夏季における職員のポロシャツ着用について質問を行ったが、検討状況はどうか。

【総務部長】 環境の変化やポロシャツ等の着用による効果や懸念、近隣市の動向を注視してきた。引き続き検討する。

ぷらっとわらびの運賃無料の拡充を



部活動の地域移行について

議員 部活動地域移行の進捗状況はどのようか。

教育長 地域スポーツ団体や学校、保護者の代表等で構成する本市における部活動の地域移行・地域連携検討委員会を開催し、国の部活動地域移行に関する方針及び本市の進め方等についての説明と、令和5年度実施する実証事業や来年度以降の地域移行・地域連携の計画について協議を行った。対象は、第一中学校の陸上部と剣道部、第二中学校の柔道部である。活動の状況を見て、他校の生徒を引き受けることは可能かどうかを検証していきたい。

学区外通学希望者への対応について

議員 学区内の学校に希望する部活がないため、学区外通学を希望する者への対応はどのようか。

教育長 部活動地域移行に関する国の方針に変更があったため、令和6年度においても

部活動を理由とする指定校変更を継続する。令和7年度以降については、今後の部活動地域移行に係る国や県の動向を踏まえて検討していく。

議員 部活動以外で学区外の学校に通っている方の通学理由は何か。

教育長 兄弟が既に指定校変更をしているため、同じ学校を希望する等の理由がある。

議員 安心して通学できると、自分の進学先が選べることはよいことだと思う。これからの配慮をお願いする。

民間施設を活用した水泳授業について

議員 民間施設を活用した水泳授業について、西小学校で実施されたが、検証結果と今後の取り組み予定はどうか。

教育長 複数の目で児童の安全を確保でき、施設は気温や水温が適切に管理され、設備や用具が整っていることから、水泳の得意、不得



ひぎ こうじ

意にかかわらず、多くの児童が笑顔で授業に参加している様子が見られた。今後、他校においても民間への委託を進めていきたいと考えている。

議員 どの程度まで拡大する見込みか。

教育長 具体的な計画については検討中であるが、まずは小学校を対象に実施を進める。老朽化等を考慮すると、東小が考えられると思う。

議員 早期拡大を検討し、子どもたちが安心して水泳授業ができるよう要望する。

ほかに 「空き家対策」「橋りよつ点検及び改修」について質問。



学校の水泳授業が安心して行えるようにしてほしい

生徒・児童の心を第一に教育環境の改善を！

議員 国は、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとし、目まぐるしく部活動のあり方が変化してきている。部活動地域移行の進捗状況はどのようか。

教育部長 地域スポーツ団体や学校、保護者の代表等で構成する部活動の地域移行・地域連携検討委員会を今年度

に2回開催して協議を行っている。本市で実施する実証事業については、現在、業務を委託する民間事業者を選定し、10月以降の活動開始に向けて準備を進めている。実証事業の結果を踏まえ、地域や学校生徒、保護者からの意見も伺いながら進めていきたい。

議員 先生の負担軽減や人数が集まらない部活動を複数の学校が合同で行うことなど、メリットはたくさんあると思うが、自分の学校のチームに誇りをもって戦うことが成長につながることも大いにあると思う。中学生という年代は心も体も成長過程にあり、精

神的に不安定な部分も多々ある。生徒の心を置き去りにしないように、しっかりと成長していけるような部活動の形というものを考えながら、慌てずじつくりと進めてほしい。

学校トイレの改修について

議員 年度ごとの学校トイレの改修内容はどのようか。

教育部長 平成25・26年度では、洋式化の推進を目的に便器交換のみ、27・28年度からは全面改修、令和3年度からは便器交換に加えて、床の乾式化に取り組んでいる。

議員 今後の改修の進め方は。 **教育部長** 早期にすべてのトイレ改修を完了できるように、これまで以上にスピード感を持って対応していきたい。

市民体育館アリーナにエアコンの設置を

議員 多くの市民の方からアリーナにエアコンをつけてほしいとの声を聴く。私も夏に

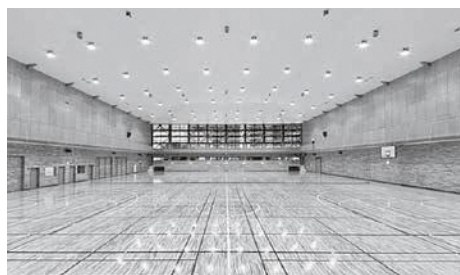


しょうの こうじ

使うことがあるが、送風機を使用して窓を開けても、小まめに水分を補給していても、熱中症の危機感を抱いてしまう。高齢者や子どもたち、災害時にも使用することを考えると、エアコンの設置が必要だと考えるがどうか。

教育部長 必要性は十分認識している。市全体の財政状況等を検討する必要がある。教育委員会としては設置費用等を研究していきたい。

ほかに 「公設公営の留守家庭児童指導室におけるお弁当の注文」を要望。



市民体育館アリーナにエアコンの設置を求める

子どもの食育推進

議員 食育について、学校の考えと現状はどうか。

教育部長 児童・生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるため、学校教育活動全体として効果的に取り組むことが重要であると認識している。現在、学校栄養職員や栄養教諭を中心とした食に関する授業等を行っている。

議員 家庭でも食育への関心が高まるような働きかけや啓発等を行っているか。

教育部長 児童・生徒に人気のあるメニュー等のアンケートを取り、作り方を含めて家庭で料理ができるようホームページに掲載している。



学校、家庭、地域が連携して食育推進を

認知症予防について

議員 若年性を含めた認知症スクリーニング検査を実施する考えはないか。

健康福祉部長 認知症スクリーニング検査により、認知症の適切な治療や認知症予防のきっかけになると考えられることから、他市での取り組み状況や効果について調査・研究していきたい。

議員 早期発見、早期治療は介護者の負担軽減にも必要である。予防の観点でスクリーニング検査の実施を要望する。

北町5丁目地域について

議員 北五公園を地域住民に利用されやすくする再整備計画を策定する予定はないか。

都市整備部長 当公園は、令和2年度に遊具の改修等安全対策を実施したほか、今年度は樹木の強剪定や間伐を行う予定である。再整備について



やじま さとこ

は、計画に基づく改修等の進捗を勘案するとともに施設の老朽度も見極めて検討する。

議員 他の地域と比較すると投票所が遠く、高齢者や身体が不自由な方にとって行きづらいとの意見がある。北町5丁目地域住民が投票しやすい投票所を新たに設置するための検討はなされているか。

選挙管理委員会委員長（以下委員長） 地域によって投票所までの距離に差異が生じているが、現時点では新たな投票所の設置については検討に至っていない。

議員 今後、新たな投票所の設置について検討を要望する。投票所での障害者や高齢者の手助けをする投票支援カードとコミュニケーションボードを導入している自治体があるが、本市の状況は。

委員長 コミュニケーションボードについては、平成28年から埼玉県全域で導入されている。投票支援カードについては今後の検討課題とする。

一般質問

障害者入所施設の設置について

議員 障害者を支えている保護者が亡くなられてしまった場合、障害のある方にとって突然献身的な支えがなくなってしまう。こうした保護者の不安を払拭することが必要となるが、障害者入所施設設置の進捗状況はどのようか。

健康福祉部長 社会福祉法人等と情報交換を行っているが、本市は特に土地の問題が大きな課題となっている。整備に向けた課題を整理しながら研究、検討を継続したい。

議員 錦町にある松原会館、西公民館の隣に市が管理する未指定地がある。障害者入所施設の建設に対する従来からの発想を変え、この未指定地にグループホームを建設し、障害者入所施設の代わりになるような内容に仕様を変えて運用する。日中は隣に位置する総合社会福祉センターに移動して活動を行うことで、このエリア一帯が入所施設と同じレベルの対応ができるのではないかと考えている。今ま

でよりもすべての問題においてハードルが低くなり、この問題を一つ前に進めることができるかと考えているので、ぜひ検討してほしい。

小学校の球技用壁当て板の設置を求める

議員 球技用壁当て板を取り壊した理由はどのようか。

教育長 平成30年6月の大阪府北部地震でのブロック塀の倒壊事故を受けて点検をした結果、安全性に疑いのあるブロック構造物等を撤去した。



中央小学校の球技用壁当て板
他の学校にも設置を



おかだ みきお

その中で、西・南小学校のシート板についても撤去した。

議員 今後の設置予定はどのようか。

教育長 現時点で設置の予定はないが、学校から設置要望があった場合には、優先順位などを判断しながら検討する。

高齢化社会に向けた対応について

議員 健康寿命を延ばすためには運動が不可欠であるが、新型コロナウイルスの影響で活動を休止し、まだ再開していない団体もある。活動の場所を今後増やしていく予定はないか。

健康福祉部長 いきいき百歳体操やフレイル予防教室などの介護予防の活動場所を拡大するなど、自立した生活を営むための支援を引き続き行っていくと考えている。

栃本 よしかね 議員（新翔会）

安全で安心して暮らせるまちづくり

防災対策について

議員 大雨時に、南町ポンプ場から緑川までの校並木下の暗渠の隙間から雨水排水が噴出する状況を目の当たりにしている。経年による土砂の堆積、桜の根の侵入などで流下

が阻害され、本来の機能を発揮できなくなっているのではないかと伺う。

都市整備部長 南町ポンプ場から緑川に排出される雨水は、ポンプ場内で除じん機や沈砂池、高速ろ過施設を経由し、夾雑物や土砂等が取り除かれ放流渠に排水される。現状、流下を阻害するような堆積物



下は暗渠となっている南町校並木、大雨時の水害対策を求める

や木の根の侵入は見られず、正常に機能しており、今後も適切な維持管理に努めていく。

議員 住宅用火災警報器の設置及び維持管理の状況はどのようか。

消防長 過去5年間の本市の平均条例適合率は、全国及び埼玉県平均より低い。維持管理については、設置後10年を経過した世帯へ警報器を交換するよう周知している。

議員 住宅用火災警報器の奏功例はあるか。

消防長 警報音に気づき初期消火したもの、ぼやで済んだもの等があり、いずれも住宅用火災警報器がなければ大きな火災につながっていたと思う。

慮している。

議員 住宅用火災警報器についてはさらなる啓発推進に努めていただきたい。

防犯対策について

議員 国は不審者の学



とちもと よしかね

校侵入対策の強化を図り、防犯対策に係る整備の補助や地方財政措置を拡充する等、集中的な支援を行うとしているが、本市の小・中学校の防犯カメラの設置状況及び街なか防犯カメラの増設、更新、設置状況について伺う。

教育部長 市内小・中学校では、全ての学校に防犯カメラを設置している。

市民生活部長 街なか防犯カメラは平成29年10月に140基を設置している。今後、機器の更新時期や方法を検討するとともに、増設や設置箇所についても精査し、引き続き犯罪が起こりにくい環境づくりを推進していく。

議員 今後増設していく中で長期的なビジョンを持って、防犯だけでなく、複数分野の課題解決につながるネットワークの仕組みづくりの検討を要望する。

ほかに 「自主防災組織に対する支援状況」「消防の連携・協力」等について質問。

本田 てい子 議員（公明党）

頼高市長の当選あいさつ文書について

議員 8月25日の新聞報道に「蕨市長当選あいさつ文書」

市公費で発送、公選法抵触指摘も」との見出しが掲載された。その報道によると、「6月の蕨市長選で5選を果たした頼高英雄市長が公職選挙法が制限する当選あいさつと受け取れる文書を市内の企業や各種団体、町会長などに送っていたことが分かった。発送は市が行い、用紙代や郵送料も公費で負担していた。こうした行為は、県南部を中心に、他の市でも行われていた。蕨市は、社会通念上、問題はないとするが、有識者は公選法に抵触する可能性がある」と指摘している」との記事が掲載された。このことについて、

市はどのように考えているか。

総務部長 本市が送付したのは、あくまでも就任あいさつ文書であり、前市長の時代を含めて従前から慣例として担当で事務的に作成し、送付しているものである。当選に関してお礼を述べたり、謝意を

表すなどの文言はなく、市政運営の方針や抱負を述べているその内容や送付先などに照らしても、目的は、市が業務上、連携する関係機関等への就任あいさつであることは明らかである。しかしながら、公職選挙法第178条には抵触しないと認識している。

議員 選挙管理委員会では、適法なものと考えているのか。

選挙管理委員会委員長 文書の目的やこれまでの本市の経緯等を踏まえ、公職選挙法第178条の対象になるものではないと認識している。

議員 市長の見解は。

市長 これはあくまでも就任あいさつだということをまずご理解いただきたい。私が今回のこの就任あいさつについて作成や送付先を指示したり、内容を確認したりしているものではないが、従前から担当において慣例的かつ事務的に送付してきたという経過であったり、当選に関してお礼を述べたり謝意を表するなどの

文言はなく、就任に当たっての市政運営の方針、抱負などを述べているその内容、さらに送付先などを見ても、今回取り上げられているその文書が就任あいさつであることは明らかである。しかしながら、社会状況が変化の中で、少しでも疑義が生じるということであれば、その取り扱いや内容等については検討していきたいと考えている。

ほかに 「地震ブレイカー設置への助成」「消防団の暑さ対策」「防災倉庫を水害から守る」について質問。



ほんだ ていこ



防災備蓄品を水害から守る対策を

がんサバイバーへのアピアランスケア ウィッグや胸部補正具購入助成を

議員 本市の40〜74歳の死因別割合（2017年〜2021年）は、悪性新生物が41・5%である。早期発見が大切だが、検診受診率においてコロナ禍の影響はあったか。

健康福祉部長 令和2年度から受診率の低下が見られ、3・4年度も低下したままで推移している。

議員 受診率に影響する職場での検診受診数をどう把握しているか。

健康福祉部長 現在は把握する仕組みがなく、市民の正確な受診状況は見えていない。
議員 毎年10月の乳がん予防のピンクリボン運動で検診受

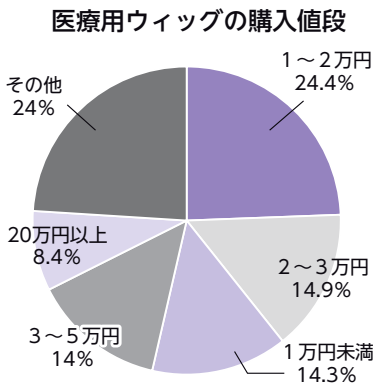
診率を上げている自治体もある。本市も関連機関等と連携してできないか。

健康福祉部長 受診率向上の取り組みとして調査・研究していきたい。

議員 今年3月、国の「第4期がん対策推進基本計画」での見直しポイントで、アピアランスケアが重点施策になっている。治療を受けながら生活や仕事を続けるサバイバーも増えている中で、治療による外見変化に対するサポート（アピアランスケア）は、国もその重要性を認めている。

ウィッグや胸部補正具購入の助成をする自治体は増加中であり、本市も検討願いたい。

市長 行政が目をつけて支えてくれていて、という安心感が得られるのであれば、安心して住み続けられるまちづくりにつながるっていくのかと率直に思う。前向き



率直に思う。前向き



に考えていく大事なテーマだと考えている。

子どもの起立性調節障害について

議員 この病気は立ちくらみ、朝起き不良、倦怠感等の症状で思春期に好発する自律神経機能不全の一つで、身体症状以外にも生活習慣や心理的原因なども合わせた心身症と言われている。小学生5%、中学生10%の発病率と言われるが、市内小・中学校での発症状況と対応はどのようなか。

教育長 令和5年9月6日現在で34名となっている。対応については、登校時間を遅らせる等の柔軟な個別対応を行っている。

議員 体内リズムのずれもあり、午前中の体調不良など、頭では頑張ろうとしても体がついていかない状況や、近年の酷暑を考慮して本人、保護者、教員等が理解し、みんな

で廠の大切な子どもたちを見守っていければと考えている。

一般質問

商店街の活性化について

議員 8年前、初めての一般質問において、このテーマを質問したが、商店街の様相としては、さらなる店主の高齢化、そして見えない展望と非常に厳しい状況にある。商店街には宅地化が目立ってきており、本腰を入れなくては、この10年間で商店街がなくなってしまうと危惧している。

市が率先してビジョンをつくる予定はないか。

市民生活部長 現在、中心市街地活性化プランの3年間で、計画期間のちようど折り返しの時期にあり、まずはこれまでの空き店舗対策や本プランで掲げているエリアリノベーション事業、にぎわい創

出事業、経営体質の強化事業の3事業を進める。また、令和7年度以降は、廠駅周辺のにぎわい空間の核となる廠駅西口再開発事業と歴史と伝統を持つ旧中山道地域、そしてこれらをつなぐ駅前通りのにぎわいを創出する交流拠点の具体的な整備を含む新たな構

想や計画等を策定していく必要があるものと考えている。

議員 商店街活性化として様々な事業を実施していることは理解しているが、市がビジョンを持って、この商店街でいろいろな人が人生をかけてやろうと思うせるぐらいのプランを市内外に大きくPRできるぐらいのプランディングが必要である。ぜひとも広く多くの方に廠のビジョンを知ってもらえるような仕組みを持って、商店街活性化事業を行ってほしい。

公民館のWi-Fi実証実験について

議員 選挙告示1か月前となる4月27日から北町公民館と東公民館に、告示10日前の5月19日から中央公民館において、公衆無線LANが実証実験として導入された。10月に開庁した新庁舎1階には本格的なWi-Fi環境の導入が決まっていたのに、このタイミングで実証実験をする目的はど

のようか。



教育部長 公民館におけるインターネットを使用した学習環境の充実を図るために設置することを旨としており、実証実験により課題の整理を行い、運用方法やルール等を設定することを目的としている。

議員 中央公民館の実証実験に参加したが、インターネットの表示速度が遅い状況であった。公民館は災害時には避難所として使用されるので、実際に導入する際には、災害時の対応も含めてしっかりとした機種を導入してほしい。



Wi-Fi実証実験を行っている中央公民館

猛暑対策など教育環境の改善について

議員 猛暑による授業や部活動への影響と対策はどのようなか。

教育長 予定の授業や部活動ができないことや変更が必要となった場合があった。対策としては、エアコンを使用し適切な暑さ・湿度に努めたほか、エアコンのない体育館等では窓を開け、大型扇風機やサーキュレーター、スポットクーラーなどを使用した。また、児童・生徒が水分補給や適切な休憩時間を取るようになした。

議員 エアコンの使用状況と効果、今後の対応はどうか。

教育長 エアコンは、現在ほぼ毎日使用。エアコン設置の

体育館は快適との声がある。

一方、一部の教室では快適な温度を保てていない。換気、近年の猛暑、機器の劣化の影響と認識。状況を適切に把握し、快適な環境に努めたい。

議員（部活動等での細やかな指導も含め）様々な猛暑への対応がされていると認識した。一方で、教室で30度を超える例もある。近年の猛暑はこれまでにない状況であり、さらなる対策が必要。生徒や家庭からの聞き取り、教室の温度等の実態把握とエアコン補修・更新、教室の断熱改修、グリーンカーテン等の検討も必要。検討を要望する。

教員の配置について

議員 教員の欠員状況は。

教育長 昨年度は4件で臨時的任用教員の退職、産休・育休に伴うもの。今年度はこれまでに6件で初任者の着任辞退や退職、産休・育休・病休に伴うもの、という状況。



すずき さとし

議員 負担軽減の取り組みや教員のための相談・研修の充実等が必要。また現状の臨時的任用教員の待遇等には問題がある。県に正規採用教員の増員などを強く求めてほしい。

西口再開発と駐輪場対策

議員 進捗状況と見通しは。

都市整備部長 コロナ禍により合意形成に時間を要したことに加え、物価高騰の影響で工事契約の協議に時間を要し、事業に遅れが生じている。事業性を高める取り組みを進めるとともに施工業者を決定した。契約工期（令和9年8月）での竣工を前倒しできるような調整を進めていると聞く。

議員 市民からは、駐輪環境の改善を求める要望が多い。供用開始後も視野に入れた検討も必要。当面、民間駐輪場の案内などの対策を要望する。

ほかに 「学校近隣の住環境への対応」「新庁舎新設窓口と職員対応」について質問。

高次脳機能障害への支援 地域での理解を促す取り組みを

議員 高次脳機能障害とは、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害や交通事故などで脳に損傷を受けた結果、以前と同じ能力を発揮できなくなったり、人が変わったようになってしまつことがあり、こうした状態で様々な障害を負う状態のことである。当事者やその家族が市役所の窓口に行っても、これは保健センター、これは障害者福祉係と行ったり来たりしてしまつ。少しでも当事者と家族の負担を減らしてほしいが、窓口の一本化をどのように考えるか。

健康福祉部長 体制整備等の課題があることから、来所された窓口で希望する手続の丁寧な案内や円滑な引き継ぎなどにより、利用される方の負担軽減に努めていく。

議員 窓口の一本化が難しいのであれば、せめて障害者福祉係への保健師の配置を検討してほしい。

健康福祉部長 精神障害者保健福祉手帳の更新が切れると、突然あらゆ

るサービスが止まってしまうとの話を聞いている。2年更新の際に、更新が切れる前と切れた後で案内などを出してほしいが本市の見解はどうか。

健康福祉部長 近隣市の状況等を調査するとともに、手帳の発行元である埼玉県にも相談していききたい。

議員 市民や職員、福祉関係者向けの研修や周知のためのイベント、ポスターの貼り出しなどで理解を深めるための啓発を行ってはどうか。

健康福祉部長 相談対応を行う職員については、県主催の研修等の機会を利用して、高次脳機能障害への理解を深め、支援に生かせるよう努めている。また、広く高次脳機能障害を知っていただくことを目的として、ホームページやポスターを活用した啓発にも取り組んでいきたい。



みやした なみ

議員 当事者のご家族からのポスターの提案となるが、「こんな症状はありませんか」というような疑問形にして、些細なことでも怒るようになってしまつたみたい「先のことを考えずにお金を使つてしまつた」などの症状がひよっとしたら私かも、近所のあの人かもと気がつき、高次脳機能障害かもしれないと思つて、相談につなげていくことが大事になる。このポスターが水面下に隠れた人たちに手を差し伸べるような役割を果たすことにもつながると思うので、ぜひ検討してほしい。

こんな症状ありませんか？

些細なことでも怒るようになり、人柄が変わってしまったみたい。

先のことを考えずにお金を使っちゃう。

ついさっき買ったことも覚えてないみたい。

やる気がでない・・・

仕事で以前ならありえないようなミスをしてしまう。

適に迷ってしまう。

それって、**高次脳機能障害** かもしれません

学校トイレの 洋式化について



和式便器に加え、悪臭・感染症の原因にもなる『床』も改修を

- 議員** 市内全ての小・中学校のトイレを洋式化すると、合計で何箇所改修が必要か。
- 教育部長** 担当課としては合計60か所と想定している。
- 議員** 改修済トイレでの仕様。この平均工事費・特徴は。
- 教育部長** ①便器のみを和式から洋式に改修、約312万円。洋式化率は向上するが臭気や使いやすさといった課題が残る。②洋式化に加え床を乾式化、約57万円。臭気の解消など、トイレの環境改善に大きく貢献しつつ、費用が抑えられ、複数箇所を実行できる。③全面改修については、約1590万円。トイレ空間全てがリニューアルされる反面、工事費が高額となり、多くの箇所での実施には、予算の確保等が課題。
- 議員** 被災時に学校を避難所として利用する際に、トイレが洋式化・乾式化されているメリットはどのようなか。
- 市民生活部長** 洋式トイレは高齢者や障がい者等も利用しやすく、トイレ処理セットの活用にも適している。床の乾式化は感染症対策にも有用。
- 議員** 和式が残る60か所は洋式化・床の乾式化を要望する。学校や子どもたちの声を丁寧に聞き、全60か所の改修を急ぎ完了してほしい。
- 時代の変化を捉えた自然・宿泊体験支援の検討を**
- 議員** 自然体験や集団宿泊体験は子ども達の学力、自己肯定感、非認知能力等の向上にもよい効果があるとの分析があるが、本市の考えは。
- 教育部長** 国の調査でもそのような報告があり、多くの自然・宿泊体験や機会の創出・確保が重要であると考えている。
- 議員** 子ども会等の青少年団体の活動が活発になることは、コミュニケーション活動の担い手を育て、市全体の活性化にもつながると思う。既存利用団体や未利用団体も使いやすい支援制度の再検討をお願いする。
- 議員** 蕨駅のエレベーターの設置工事費・維持費を耐用年数で割り戻した場合、年間の維持費用はどのようか。
- 都市整備部長** 耐用年数を25年とすると、約820万円。
- 議員** 陸橋の階段を撤去し、エレベーターを設置した場合の課題は。
- 都市整備部長** 夜間運転停止時の利便性や、混雑時に利用者が橋の上で滞留し安全性の懸念が生じる等課題が多いため、今後の研究課題とする。



かなまる けんじ

一般質問

「子育てするならわらび」 子育て支援策について

- 議員** 保育園・留守家庭児童指導室の不承諾者数と待機児童数はどうか。
- 健康福祉部長** 不承諾者数は、0歳児13人、1歳児19人、2歳児2人、3歳児15人、4歳児1人の合計50人。待機児童は、塚越の3歳児1人。留守家庭児童指導室については、4年生9人、5年生15人、6年生2人の合計26人（中央小学校5人、南小学校6人、西小学校10人、東小学校1人、北小学校4人）。
- 議員** 養育費支援事業についてはどのような事業を想定されているのか。
- 健康福祉部長** ひとり親世帯の経済的自立を支援するためひとり親世帯の方が保証会社と養育費保証契約を締結する場合の補助制度を創設し、養育費の未払いを防ぐとともに現状では本制度の対象要件である公正証書等の養育費の取り決めを行っているケースが少ないことから、公正証書の作成支援等についても併せて検討していく。
- 現図書館の移転後の利用について**
- 議員** 現図書館の移転後の利用はどうか。
- 教育部長** 文化芸術の拠点にふさわしい活用方法を関係各課と協議し、計画を立案していく。
- 議員** 南町地域への分館設置についてはどうか。
- 教育部長** 分館としての機能を十分果たせる施設へ設置できるように検討していく。
- 緑川での特定外来植物の駆除について**
- 議員** 特定外来植物「ナガエツルノゲイトウ」等が緑川の川辺（第一中学校脇、塚越親水公園）で発見されたが、埼玉県に駆除の対策を求めるとともに、市民への広報が必要だと思いがどうか。
- 都市整備部長** 「ナガエツルノゲイトウ」は、南米原産の多年草で特定外来生物に指定繁殖力、再生力が強く、生態系に影響を及ぼすほか、水辺に繁殖すると川の流れを障害する要因も指摘されている。緑川の管理者である埼玉県に確認。9月上旬に市内の緑川において、ナガエツルノゲイトウ等の小規模な繁殖が確認され、10月に駆除を予定。
- 市民生活部長** 市民へ広く周知を行い、繁茂対策に努め、国や県、関係部局との連携を図り、状況を注視していく。
- ほか** 「道路改修」「南町桜並木遊歩道などの老木への対応」について質問。



やまわき のりこ



埼玉県と県生態系協会による緑川での除却作業

前川 やすえ 議員（新翔会）

犯罪被害者等支援条例について

議員 本条例における性犯罪の位置づけについてはどうか。
市民生活部長 本条例の犯罪等の定義に該当している。

議員 性犯罪、性暴力という言葉が本条例に入っていないと、性犯罪、性暴力は許さないと、強い意思を示すことになったと思うがどうか。
市民生活部長 本条例は、県のガイドラインに沿ったものであるが、性犯罪に限らず、いかなる犯罪も許さないというスタンスで策定している。

「当選あいさつ」と新聞掲載された内容について

議員 8月25日の新聞報道について、掲載記事の内容は。

総務部長 当該文書は、あくまで就任あいさつ文書であり、前市長の時代を含めて従前から慣例として担当で事務的に作成し、送付しているものである。市政運営の方針や抱負を述べているその内容や送付先などに照らしても、目的は市が業務上、連携する関係機



まえかわ やすえ



1月から工事が再開される
駅前再開発事業

関等への就任あいさつであることは明らかで、考えており、公職選挙法第178条には抵触しないと認識している。一方で、社会情勢の変化の中で少しでも疑義が生じるおそれがあれば、今後は就任あいさつ文書の取り扱いや内容を検討する。

議員 前市長時代からの慣例とこのことだが、市長が就任した16年前と今でも状況は変わってきている。その認識は。

総務部長 これまでも選挙のあった多くの団体から同様の就任あいさつ文書をいただいていること等に加え、本市においてもこれまでご指摘をいただいたこともなく、一般的な社会通念上の就任あいさつとして認識している。

蕨駅西口地区市街地再開発事業について

議員 私は、従前より駅前再開発事業のにぎわいを中山道までつなげる、駅前から蕨市

を元気にと申している。再開発事業が遅れることに伴い、まちのにぎわい創出事業への影響についてはどうか。
市民生活部長 現段階で影響が及ぶことは想定していない。今後再開発事業の進捗を注視しながら、これまで進めてきた経営体質強化事業や、わがまちにぎわいプロジェクト事業などを推進し、まちの活性化を図っていきたい。

議員 再開発事業は、市民を挙げての事業であり、市民の皆さんと一緒に盛り上げていくためにも、可能な限り、情報開示に努めてほしい。

榎本 和孝 議員（無所属）

無料低額宿泊所 市民の不安を払しょくしてのオープンを

議員 一時期、無料低額宿泊所が話題となった。いわゆる貧困ビジネスとして、ホームレスなど住むところがない人に、部屋や食事を提供する一方で、生活保護費から利用料を天引きしたり、施設職員による暴力などが社会問題化した。本市の現状は。

健康福祉部長 これまでの本市における無料低額宿泊所は、平成14年に特定非営利活動法人が塚越2丁目1か所開設したが、令和3年4月末に廃止された。現在市内にはないが、ホテルなどを展開する大手民間事業者が塚越5丁目地域での開設を検討して、地域の方との話し合いが進められている。

議員 この件について市民からの問い合わせはあるか。
健康福祉部長 「そもそも無料低額宿泊所とは何か」「反対する」という内容の問い合わせがある。

議員 反対理由はどのようなものか。
健康福祉部長 住環境への不

安だと記憶している。
議員 市は今後どのように関わっていくのか。

健康福祉部長 市内で無料低額宿泊所を設置する場合、県に開始届を提出する前に、市の「蕨市宿泊所の設置等に関する指導要綱」に基づき、市との協議や、近隣関係住民等への説明会開催等の必要事項を設けている。

議員 住民の不安を払しょくするように対応してほしい。また、市長は今回の件をどのようにとらえるか。

市長 生活困窮者に一時的に生活の場を提供する施設と認識するが、周辺環境に様々な影響を及ぼすことが懸念され、不安に思われることも想定される。市は独自に指導要綱を定めているので、これに基づき近隣関係住民の理解を得られるようにするなど、事業者に対してしっかりと対応をしていく。



えのもと かずたか



急に休みになると子どもの預け先がなくて困ります

議員 急な学級閉鎖等で子どもの預け先に苦労するという声もきく。受け入れ態勢を万全にしたい。
ほかに 「奨学金返済困難者への支援」について質問。

議員 急な学級閉鎖による預け先の確保に万全を

議員 新型コロナやインフルエンザによる学級閉鎖等はどうなのか。

教育部長 9月15日までで新型コロナウイルスによる学級閉鎖は8学級、学年閉鎖は2学年。インフルエンザによるものは4学級、1学年。

議員 急な学級閉鎖等で子どもの預け先に苦労するという声もきく。受け入れ態勢を万全にしたい。

市内交通事故の現状と対策について

議員 市内の交通事故について、過去3年間の件数はどのようか。また、その分析や調査は行っているのか。

市民生活部長 交通事故による人身事故件数及び死傷者数は、令和2年度108件126人。令和3年度62件73人。令和4年度93件107人。安全運転義務違反及び交通ルールやマナーが守られていないことが多く、交通安全教室の実施、交通事故多発地区整備事業等の各種取り組みを行い、対策を講じている。

議員 朝や夕方に逆光で、信号機の色が見えない現象が起こるが、対策や啓発は行っているのか。

いるのか。

市民生活部長 埼玉県警察において、誤認防止対策用のひさし付き信号機の設定や、LED式信号機への対策を行っていると同っている。警察への対応を依頼しているほか、市独自で路面標示等を行い、注意喚起を促している。

議員 西小学校付近で、交通事故が起こりやすい交差点がある。特に季節や時間帯によつては、そこに信号機があることを認識できないことがあると思われるが、何か対策はないか。

市民生活部長 歩行者や車両に対して、交差点部分の事故防止を呼びかける看板設置や、信号機の使用を事前に運転手に予告する横断幕を新たに設置する等の対策を講じている。



西小学校付近の交差点

議員 西日対策用のレンズの設置を強く要望する。



すずき しんのすけ

蔵駅西口商店街の活性化について

議員 蔵駅西口から中山道までの間に、シャッターが閉まっている店舗が多い。空き店舗を減らし、店舗を増やすための政策をどのように考えているか。

市民生活部長 平成23年度より空き店舗有効活用事業補助金制度を設け、商店街の空き店舗解消に努めてきた。今後は、貸店舗化を推進し、地域の実情に合った業種を誘致するための改装を行った上で転賃するサブリースの手法等、より積極的な空き店舗対策に取り組み、さらなるにぎわいと活力あるまちづくりを進めていく。

市長 商店リニューアル制度の導入や、織りなすクールポンの実施等、中山道のにぎわい交流拠点の仕組みをつくる取り組みを行ってきた。市の取り組みをさらに発信していく。

議員 商店街の活性化対策や支援を引き続き要望する。

一般質問

猛暑から市民の命と健康を守る取り組みについて

議員 環境省が取りまとめている地域における熱中症対策の先進的な取り組み事例集によれば、熱中症予防行動の国民への浸透は不十分とし、熱中症対策は気候変動適応策の中でも、特に具体的な対策を推進していくべき分野としている。本市における猛暑から市民を守る現在の取り組みについてはどうか。市民への周知をどのように行っているか。

健康福祉部長 満75歳以上の高齢者を対象に啓発チラシを配布するなど注意喚起を行っている。また、市内13の公共施設を一時休憩場所や高温時の緊急避難所として開放するクールオアシスを実施している。周知については、ホームページや広報紙、各公共施設にチラシ及びポスターによる啓発をはじめ、防災行政無線で注意を呼びかけるなど、市民に広く周知を行っている。

議員 「クールオアシス始めました」というポスターについては、一見わかりやすいが、



子どもたちの居場所づくり、情報発信を積極的に（福祉・児童センター）

熱中症は命の危険が伴うものであり、危機管理的な部分の修正を検討してほしい。また、生活困窮者に対するエアコン購入費への助成についても検討してほしい。

議員 子どもの遊び場、空間の拡充について、期待されている役割だと思つて、自治体に期待されている役割だと思つて、児童館には、専門職員も配置され、子どもが意見表明する場も提供されているので、積極的な情報発信をして、その魅力を伝えてほしい。



たけした りょう

市民参画の推進について

議員 市民参画の状況と課題はどのようか。

総務部長 審議会等による審議、パブリック・コメント、意向調査、意見交換会、ワークショップを実施している。いずれの市民参画制度も、市民の方に関心を持っていたことが重要であり、市政の情報提供をしっかりと行いたい。

常任委員会 視察報告

総務常任委員会

○日 程

令和5年11月2日

○視察地・調査事項

茨城県常総市

「関東・東北豪雨災害の検証 被災後7年の行政と市民の努力と変化」

○調査報告

常総市は、鬼怒川が市の中央、小貝川はその東側を流れており、災害時は鬼怒川の堤防が約200メートルにわたって決壊し、市の3分の1（約40平方キロメートル）が浸水しました。被災後の大きな取り組みは、マイ・タイムラインの作成や、普及啓発で「住民が水災害に関する知識を得る」ことを目標としていました。マイ・タイムラインは役立つツールになります。

大きな災害を経験していない本市としては、受援計画や市民の正常性バイアス（今まで災害が少なかったから安全という先入観）への対応等について参考にしていきたいです。



環境福祉経済常任委員会

○日 程

令和5年11月8日～9日

○視察地・調査事項

福島県福島市

「特色ある幼児教育・保育プロジェクトについて」

山形県米沢市

「米沢市立病院の建替整備等について」

○調査報告

福島市では、特色ある幼児教育・保育に取り組む私立幼稚園や認可保育施設に対する事業費の支援と子育て世代へPRをしていました。対象事業はいずれも大変興味深く、本市のより良い保育のために役立てたいと思いました。

米沢市では、11月6日に外来診療が開始されたばかりの米沢市立病院を視察しました。建替に伴い、別の医療法人が経営する病院との医療連携がなされ、地域医療がしっかりと確立されていました。本市の市立病院建替事業への参考としていきます。



教育まちづくり常任委員会

○日 程

令和5年10月18日～19日

○視察地・調査事項

宮城県丸森町

「学校における食育の推進事業」

岩手県一関市

「一関市立図書館について」

○調査報告

丸森小学校の食育の授業は、低学年において農業体験重視の内容、中・高学年になると、体験学習に食について調べる学習を加え、さらに地域の食材については地域交流「ふるさと学習」として学んでいました。地域の農業に触れ合いながら、食べ物のありがたさを感じる取り組みが印象的でした。

一関市立図書館は、市直営で運営を行い、市民以外の人でも利用が可能で、観光客も利用できます。図書館の配置やコーナー設定、カフェスペースの設置場所など、利用者が使いやすいような施設となるような工夫が見られました。



全国都市問題会議

文化芸術・スポーツが生み出す
都市の魅力と発展

10月12・13日に、都市の抱える問題や地方自治の在り方について議論する「第85回全国都市問題会議」が八戸市で開催され、本市議会から5名の議員が参加しました。



今回の会議は「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」をテーマに、講演やパネルディスカッション等により、様々な取り組みが紹介され、多くの気付きを得ることができました。

1日目は、日比野克彦 東京藝術大学長による「アートの役割って何だろう?」、鈴木秀樹（株）鹿島アントラーズFC取締役副社長による「まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用」などをテーマとした講演・報告が行われました。また、八戸市の熊谷市長より、文化・スポーツによるまちづくりを通じてコミュニティ感覚を醸成するとともに、それらの交流からより良い社会を目指した取り組みについての報告等がなされました。2日目は、今回のメインテーマに基づいたパネルディスカッションが行われ、市長や大学教授等の4人のパネリストがそれぞれの専門的視点から、持論を展開して議論を深めました。

12月定例会の日程（予定）

11月28日（火）開 会	12日（火）一般質問
30日（木）議案質疑・委員会	13日（水）〃
12月1日（金）委員会・分科会	14日（木）一般質問・委員会
4日（月）委員会・分科会	18日（月）閉 会
5日（火）委員会・分科会	

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました

8月23日「議会報告会について」
9月22日「12月発行号の概要、議会報告会について」
10月16日「議会報告会について」
11月14日「12月発行号の最終確認、音声の議会だより、議会報告会について」

蕨市議会議員のご紹介

—教育まちづくり常任委員会6名—

令和5年7月から蕨市議会議員は新たな構成でスタートしました。今号の議会だよりから3回にわたり、18名の市議会議員を所属している常任委員会ごとに紹介していきます。初回は、教育まちづくり常任委員会のメンバー6名を紹介します。

議席番号16 比企孝司議員（委員長）



- 好きな言葉
時に及んで当に勉励すべし 歳月人を待たず
- 苦手なこと 片付け 重要書類がすぐ消えてしまう
- 家庭での役割 買い物担当
お得な店情報を教えてくれる方も多く冷却バッグ持参
- やってみたいこと
三国志を読み返す
- 日課 愛犬COCOと散歩 朝晩近くを散歩する

議席番号4 岡田三喜男議員（副委員長）



- 特技
空手道（空手歴36年）
- 好きな言葉
至誠天に通ず
- 好きな食べ物
あんバター
- 趣味
映画鑑賞、御朱印巡り
- 資格
教員免許、空手道五段、剣道初段、防災士、スピーチ検定2級

議席番号2 鈴木慎乃助議員



- ニックネーム
しんの、しんちゃん
- 趣味 サッカーをすること、サッカー・プロレス観戦
- 好きな言葉
「未来を恐れず、過去に執着せず、今を生きる」（堀江貴文）
- 性格
明るく冒険心旺盛で楽観的
- 苦手なこと
事務作業
- 自分を動物に例えると 象

議席番号6 矢嶋聡子議員



- ニックネーム さとちゃん
- 趣味 登山
- 特技 外食等で美味しかった料理の再現
- 価値観
慈愛の気持ちで、他の人の心配をして助けたいと思い管理栄養士になった
- 自分を動物に例えると 牛
- これからやってみたいこと
子供の頃にやっていたピアノをもう一度やりたい

議席番号11 古川 歩議員



- ニックネーム
あゆちゃん、あゆさん
- 趣味・特技
新しいことに挑戦すること
- 好きな言葉
「ありがとう」
- 好きな色
ビタミンカラーのオレンジ
- ライフワーク
まちを元気に盛り上げること

議席番号13 鈴木 智議員



- 趣味 地方や地域の歴史・文化に興味大
- 性格・価値観
おとなしく、控えめな方では…でもお祭りやイベントは大好き
- 好きな言葉
All for one One for all
- 苦手なこと
恥ずかしながら「整理整頓」
- 目標
「気は優しく、力持ち」でありたい

編集後記

今年で18回を迎えたマニフェスト大賞は、日本最大の政策コンテストです。今年の応募は、308件。エリア選抜はエリアの代表になり、その中から優秀賞が選ばれます。今年のエリア選抜は113件。その中に蕨市議会が入りました。

コロナ禍で議会報告会をどう開催したか。コロナ禍だからこそ、市民に報告しなければならぬことがあると、先ずは配信で、次はライブ＋録画配信とステップを踏み、工夫を重ねた3年の経過をまとめ応募しました。

エリア選抜は、2年前も超党派で6人の女性議員が「コロナ禍の生理の貧困への支援」を提案し、受賞しています。

全国の議会等の「善政競争」は、実に刺激的です。

広報広聴委員会

委員長 大石 圭子
副委員長 金丸 けんじ
委員 鈴木 慎乃助
岡田 三喜男
矢嶋 聡子
榎本 和孝
鈴木 幸智
大石 幸歩
古川 歩